

## 大船渡発

### 売り上げの一部を寄付

大船渡市出身のシンガーソングライター・濱守栄子さんがふるさとの復興のためにと大船渡市にCDの売り上げの一部50万円を寄付しました。濱守さんは戸田公明市長に今回の寄付で大船渡市と陸前高田市に贈った義援金があわせて600万円に達したことを報告しました。震災発生直後にふるさが失われた悲しみやふるさとの愛情を歌った「国道45号線」をリリースし、売り上げの半分を義援金として寄付してきた濱守さんは、これからも歌を通して震災を伝え、寄付をしていきたいと話していました。(12/21 ニュースエコー)

## 大槌発

### 市街地の商業再生で特区

中心市街地での商業の再生に向けて、大槌町が国に提出していた復興特区の申請が認められ、大槌町役場で岩手復興局の山下容弘局長から大槌町の平野公三町長に認定証が手渡されました。認定を受けたことで今後、再建を図る事業者は固定資産税の免除や被災者を雇用した際の法人税の特別控除など税制面での優遇措置が受けられるようになります。商業再生に関わる復興特区は釜石市と大船渡市、山田町が既に認定を受けており、陸前高田市も今回認定されています。(12/22 ニュースエコー)



## 大船渡発

### 産直海鮮まつり

震災で被災した魚市場や水産業が多くの支援で復旧したことへの感謝を込めて買受人たちが企画した大船渡市魚市場の「産直海鮮まつり」が開かれました。今年3回目で、会場にはホタテやドンコといった地元で獲れた海産物やマグロやイクラなどがずらりと並びました。いずれも市価の3割から5割ほど安いとあって午前8時のオープンから次々と買い物客が訪れ、買受人のアドバイスを受けたりしながら気に入った品を買い求めていました。(12/23 ニュースエコー)



## 大槌発

### サンタ100人現る

全国からボランティア100人が大槌町を訪れ、サンタクロースに扮して仮設住宅や災害公営住宅の住民にプレゼントを配りました。これは遠野のNPO法人が震災の年から被災地で行っているものです。大槌町小槌地区の仮設住宅では集会所のクリスマス会にサンタたちが登場。いっしょに歌を歌った後、大槌町内の店から購入したプレゼントを配りました。このイベント、釜石市でも行われました。(12/24 ニュース)



## 盛岡発

### 三鉄 3期ぶりに赤字

三陸鉄道は3期ぶりに赤字となる見通しです。取締役会で承認された今年度の決算見通しによりますと、個人利用が減少しているほか、台風10号の影響で団体客のキャンセルが相次いだことなどから、当期損益は3千100万円余りの赤字となっています。また、野田村に『十府ヶ浦海岸駅』を新設し、来年3月25日に開業することになりました。(12/27 ニュースエコー)

## 宮古発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)  
みやこハーバーラジオの木村彩子さんが、宮古の正月には欠かせない「お飾り」について伝えてくれました。これは縁起物が描かれた紙を家の神棚に飾り、一年の家内安全、大漁、豊作などを願うものです。「お飾り」の製作は代々受け継がれた下絵の墨絵に、一枚一枚手描きで色を加えていくということです。12月27日から31日まで宮古魚菜市場駐車場で「お飾り市」が開かれ販売されます。(12/28)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122